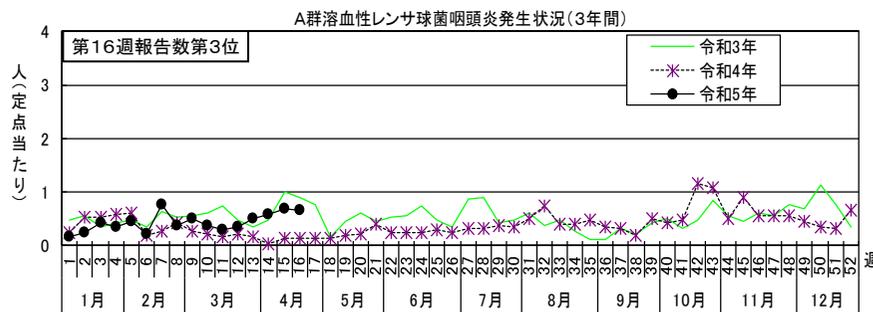
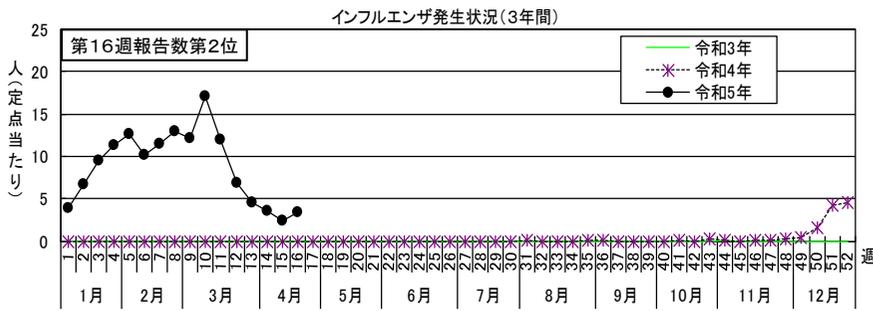
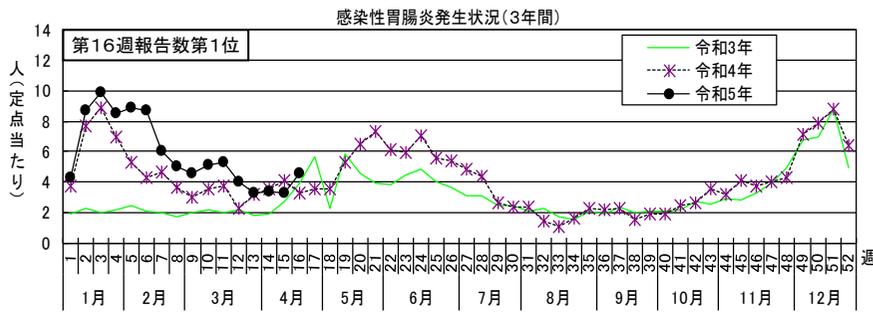


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年4月17日（月）～令和5年4月23日（日）〔令和5年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（3.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.49人と前週（2.36人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.65人と前週（0.70人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



海外で注意すべき感染症と予防対策について

今年のゴールデンウィークは、昨年と比べ海外へ渡航される方が大幅に増加することが予想されます。海外においては、国内ではみられない感染症が流行している場合もあり、思わぬ感染症に罹ることもあります。病原体の種類により、食べ物や水を介してうつるもの、動物からうつるもの、蚊やマダニなどが媒介するものなど様々な感染経路があり、予防対策も異なります。

海外旅行中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行するためにも、海外で注意すべき感染症及びその予防対策を事前に確認しましょう。

食べ物や水を介してうつる感染症

細菌性赤痢、腸チフス、腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、A型肝炎、E型肝炎等



【予防対策】

- 手洗いなどの手指衛生をこまめに行う。
- 生水、氷、カットフルーツ等の喫食は避ける。
- 食事は十分に火の通ったものを食べる。

動物からうつる感染症

鳥インフルエンザ、狂犬病、中東呼吸器症候群（MERS）等



【予防対策】

- 動物にはむやみに手を出さず、近寄らない。
- 動物に触れた場合、手洗い等の手指衛生を心がける。

蚊やマダニなどが媒介する感染症

デング熱、マラリア、ジカウイルス感染症、チクングニア熱等



【予防対策】

- 長袖や長ズボンを着用する。
- 虫よけ剤（ディート等の成分を含む）を使用する。
- 網戸等の設備が整った宿泊施設を利用する。

その他、海外で注意すべき感染症

麻疹、風しん、ポリオ、新型コロナウイルス感染症等



【予防対策】

- ワクチンを接種する。
- 何らかの症状がある方との濃厚接触を避ける。
- 必要に応じて、マスクを着用する。